

あなたの心にジャストミート 6月16日メッセージ
御言葉の体験(ルカ 5:1-11)

信者はこの世に打ち勝ちこの世を生かす者として召されましたが、現実はその見えません。それは、自分とこの世の水準のままだからです。御言葉を体験することによって、自分と世の水準を超えることができ、与えられた祝福が成り立ちます。では、どのように御言葉を体験できるのでしょうか。

1. イエスがキリストであることを体験すること。

- 1) 絶対変えられない過去から(傷)
 - ① 苦しみ、失敗、事故-心の傷、トラウマ、～のせい
過去の傷で、イエスがキリストと体験しましょう。
 - ② ヨハネ 19:30 「すべて、完了した」
私たちのために十字架で死んで完了されました。過去の傷、トラウマ、～のせいは、「すべて完了」を体験する材料にしましょう。
 - ③ 養育係、土台
今まで見ることができなかった人生の根本を見て、キリストに向かうようにする養育係であり、同じように傷やトラウマ、～のせいだとだまされているを生かす教育材料です。みことばどおりにイエス・キリストを体験しましょう。
- 2) 諦めるしかない現実(不信仰)から
現実をあきらめるしかない不信仰が当たり前かもしれません。紅海の前に立ったイスラエル、死の陰の谷のダビデ、レムナント7人

- は四面楚歌の状況でした。
- ① 1匹も
一晩中プロの漁師が漁をしたのに、一匹も捕れませんでした。
 - ② 条件、環境、状況
あきらめるしかない状況に、考えられない正反対のところ「深みに網を下ろす」ことを言われました。その中でみことばどおりに行い、イエス・キリストを体験しました。
 - ③ ガラテヤ 2:20、創世記 39:2、詩篇 23:1
つらい過去、あきらめるしかない現実、イエス・キリストを体験する絶好のチャンスです。自分しかいない、それは死んでいなくなり、信仰によって生きるのです。奴隷の身分であきらめるしかなかったヨセフも、主がともにおられたので幸運な者でした。みことばを握りましょう。主は信者とともにおられます。ダビデは死の陰の谷の現実でもみことばを握り、イエスはキリスト、インマヌエルなので乏しいことはないと告白しました。
- 3) 常識と経験の限界から
- ① 漁師の常識と経験
ペテロは漁師でした。その常識と経験は絶対的なものではなく、限界があります。
 - ② 律法、道徳、科学
 - ③ ローマ 5:8、詩篇 103:20、ダニエル 3:25、使徒 12:7
罪人のために罪のないイエス様が死ぬという、理解を超えたことをしてくださいました。そのみことばを握りましょう。天使は時空を

超えて信者を助けます。3人の青年も助け、ペテロも助け出しました。過去は完了しました。現実には神様のみことばを握り打破して乗り越えましょう。

2. 人を生かす伝道者であることを体験すること。

- 1) 絶対不可能な状況
信者の道は絶対不可能です。ペテロは
 - ① ユダヤ教(伝統)
 - ② ローマの植民地(政治)
 - ③ 激しい迫害(宗教)このような絶対不可能に見える状況でした。また、自分を見ても
- 2) 絶対不可能な条件
 - ① 微々たる数
 - ② うわべの貧弱
 - ③ 社会的弱者
 - ④ 溺れがちな落とし穴-いつ?いつ、ローマの植民地から解放されるのだろ

うと考えるしかありませんでした。しかし、

- 3) もしイエス様がキリストなら
 - ① 御座の力
 - ② 神の国のこと
 - ③ 御言葉の成就-ルカ 5:10、使徒 1:8このようなことが起こります。それを体験しましょう。証人と言われたみことばを契約として握り、祈りに専念してみことば成就を体験しましょう。みことばが働いて、そのとおりになります。

イエス様をキリストと告白して、カルバリ山とオリーブ山、マルコのタラッパンの御言葉を自分の契約として握りましょう！それが刻印されるまで(やぐら)祈り中で繰り返し味わいましょう！使徒 2 章の伝道の門が開かれる神の国のことを待ちつつ、すべての不信仰を捨てましょう！

1 部-ルカ 4:31-44 世はどんなところ？
なるほど/この世はサタンの国で、イエス様はサタンの国を砕かれる神の国の主なることを正しく知ると、この世を成功者として生きられる。
ならば/信者が世を生きる理由を神の国と明確にして、それだけを願いにすべてがそれに用いられることを祈ろう！
2 部-マルコ 5:15-17 順番の修正
なるほど/今まで当たり前だった環境優先、利害優先、経験優先からキリストと霊的利害、信仰優先に順番を修正ことで実際の答えに預かれる。
ならば/自分の中に絶対やぐらを建て、絶対旅程を歩み、絶対道しるべ答えに進もう！